

国際サービスシステム メンテナンスニュース

VOL.9

2001/2/28

国際サービスシステム(株)

今回はネタが尽きたというわけではなく、最近更に多発しているVOL1でも紹介したトランスミッションの話です。

トランスミッションの話(2)

今回の一番言いたい事！

トランスミッションオイル(トルコンオイル).エレメントは必ず交換時期を守り、定期的に交換する事！

事例1

昨今流行のユーザー車検を実施し2ヵ月後走行不能になり国際サービスを呼んで点検したところ

トランスミッションオイルは汚れ内部クラッチが摩耗していた。

概算修理費用はトランスミッションリンク品.本体牽引代.工賃他で約150万。

こんな事例は良くある事です。

やはりやるべき事をやるべき時期にやらなければ成らないという事例だと思います。

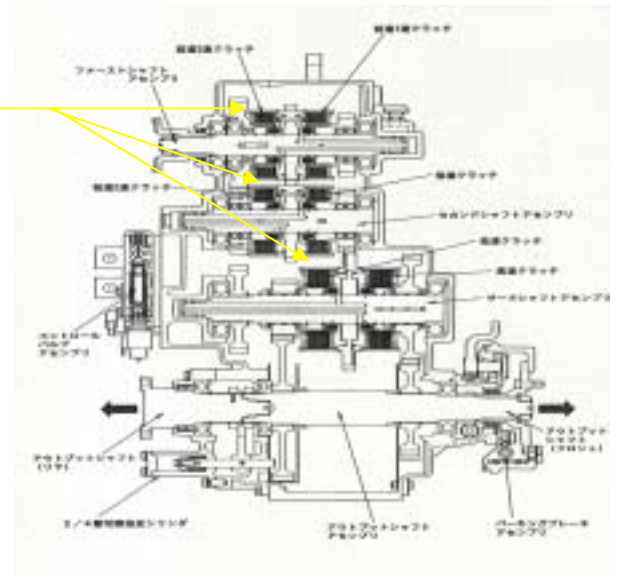
トランスミッションが壊れるメカニズム

ラフタークレーンのトランスミッション内部には多数の湿式多板クラッチが内蔵されていてそのクラッチをトランスミッションオイルの圧力で押す事により動力を伝達しています。

当然長年使用しているとトランスミッションオイルの油質が経年変化により劣化し通常15~20kg/cm²で押している圧力が低下します。

圧力が低下している状態で無理な走行を繰り返すと当然クラッチは滑り摩耗します。

摩耗粉はオイルに取り込まれオイルは更に劣化します。(VOL8で紹介したとおりオイルには洗浄作用がある為)劣化したオイルの作り出す圧力は更に低下します。この繰り返しでやがて走行不能になります。



トランスミッションASSYは25tonクラスラフターで新品250万前後、リンク品で80万から120万(メーカーにより異なる)修理には手間がかかる事と走行不能の為牽引車の費用もかかります。

オイル.エレメントを交換して、100%このような故障を防ぐ事はできませんがお客様ができる最低で最高のメンテナンス方法がオイル.エレメントを交換する事です。それによってかなりの割合で防止する事はできます。

写真は**摩耗**したトランスミッション内部の**クラッチ板**です。ブレーキパッド同様摩耗する部分がなくなり**鉄板**がでているのが判ると思います。



トランスミッションオイル.エレメントの交換は工賃.部品代含め約35,000円前後で済みます。是非国際サービスシステムをご利用ください。

以上 ご不明な点、分からない事がありましたら国際サービスにご相談ください。